

ふたば



リハビリテーション科のご紹介

○多職種チームによる包括的なアプローチ

当院では2025年4月よりリハビリテーション科医師の常駐体制が開始となり、各診療科と連携し専門的なリハビリテーション医療を提供しております。当科の役割は、入院中に病気や怪我により活動量が低下することを防ぎ、機能を回復させ、一日も早く住み慣れた地域での生活に戻るよう支援することです。当院には理学療法士(PT)、作業療法士(OT)、言語聴覚士(ST)の各職種が在籍しており、多職種がワンチームとなって介入しています。それぞれの専門性を活かし、運動機能の回復から、日常生活動作へのアプローチ、摂食嚥下機能の改善まで、患者様の病態に合わせた包括的なプログラムを実践しています。



○周術期および急性期疾患への専門的介入

臨床における大きな柱の一つが、当院で多くの手術が行われている脊椎・脊髄疾患や外傷に対する運動器リハビリテーションです。手術後は翌日から早期介入することにより、術後の合併症を予防し、機能回復の最大化を図っています。また、内科的疾患等による安静がもたらす廃用症候群への介入や、循環器疾患に対する心臓リハビリテーションにも注力し、入院患者様のADL改善に努めております。

○地域における急性期病院としての役割

当院は急性期医療を担う病院として、集中的な介入を要する入院患者様へのリハビリテーションを優先としております。そのため、通院患者様へのリハビリテーションについては、心臓リハビリテーションを除き、地域のクリニックや介護保険サービス等へお願いしております。今後も質の高いリハビリテーション医療を実践し、患者様が住み慣れた地域で生活を送れるよう、スタッフ一丸となって尽力してまいります。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

リハビリテーション科副部長 近本哲士 ちかもと かつし

診療科紹介 健診センター

健診を通じて病気の予防と早期発見に努め、

受診される方々の健康維持・増進に積極的に貢献します



診療スタッフ一同

当健診センターでは、①安心して健診を受けていただける環境づくり、②安全で質の高い健診の推進、③丁寧にわかりやすい情報提供、④病院併設型健診センターの利点を生かした各診療科との密な連携、を基本方針としています。

定期的な健診により、がんの早期発見や生活習慣病への早期介入が重要です。当センターではベーシックな健診コースに加え、がんドック、MCG や心臓 CT など心臓に特化した検査、動脈硬化の指標である LOX-index の測定、AGEs 測定など多彩なオプションを用意しています。

昨年度より腸内フローラ検査を導入し、今年度からは膵臓がんの腫瘍マーカーAPOA2-iTQ、卵巣がんの腫瘍マーカーHE4 を新たに採用しました。さらに膵臓がん・胆道がんの早期発見を目的とした検診（血液検査、MRCP）や、頭部 MRI から海馬体積を解析し認知症の超早期リスクを評価する BrainSuite も開始しています。

精査や治療が必要な場合には、速やかに外来へ紹介できる体制を整えています。受診される皆さまが安心して健診を受けられるよう努めてまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

副院長、健診センター センター長 野村 秀一 のむら しゅういち

診療科紹介 泌尿器科

いつ、何時でも対応させていただきます

ご紹介よろしくお願い致します

当科では尿路性器悪性腫瘍から前立腺肥大症、尿路結石、尿路感染症、神経因性膀胱、尿失禁まで泌尿器科全般の疾患に対応しています。2026年1月現在、2024年7月23日から Da Vinci Xi によるロボット支援手術を開始して1年6か月になりますが、前立腺全摘除術86例、膀胱全摘除術8例、腎部分切除術3例、腎摘除術1例の計98例を施行しております。

尿路結石治療では腎サンゴ状結石であっても細径腎盂鏡および吸引式腎用アクセスシース：クリアペトラを使用しレーザーにて完全破砕除去しております。多発性骨転移を伴う去勢抵抗性前立腺癌に関しては Ra223(ラジウム 223)を使用し良好な経過を得ています。膀胱腫瘍では経尿道的膀胱腫瘍一塊切除(TURBO)を実施しています。経尿道的に一塊切除して、正確な病理診断をもとに適切な治療を行うものです。前立腺生検では経会陰式で行っており、一般的に行われている経直腸的な生検にくらべ、急性前立腺炎や直腸出血などの合併症はなく安全かつ正確な組織採取と診断が可能です。

これからも最善の医療技術を提供し地域医療に貢献させて頂く所存でありますのでよろしくお願いいたします。

診療部長、泌尿器科主任部長
化学療法センター センター長

橋本 邦宏 はしもとくにひろ



診療スタッフ一同



Da Vinci Xi によるロボット支援手術

腎臓病教室を開催して

2025年11月21日、第1回腎臓病教室を開催いたしました。当日は、患者さん・ご家族を合わせて64人もの方々に参加していただき、大盛況のうちに終わることができました。

今回の教室では、医師から慢性腎臓病（CKD）とその治療について、臨床検査技師からCKDと検査値の見方、看護師から腎臓を守るための日常の注意点、また、薬剤師からは腎臓病の薬について解説しました。

CKD患者さんは、日本国内で約2,000万人（成人5人に1人）いると推計され、「新たな国民病」ともいわれています。無症状のうちに病気が進行し、CKDがあると心筋梗塞や脳卒中などの心血管疾患のリスクが高まります。腎臓は病気がある程度まで悪くなってしまうと、もとの状態に回復することは難しいですが、早期に発見し生活習慣の改善や適切な薬物治療を行うことで、病気の進行を遅らせることが可能です。

皆さんが住み慣れた地域で元気に長生きできるように、当院では今後も腎臓病教室を行ってまいります。次回は2月27日に透析、食事療法および腎臓リハビリのテーマで行います。来年度は4回シリーズで開催を予定しており、質問・意見交換の時間を増やすつもりです。

当院では腎臓病教室のほか、「心臓病教室」、「糖尿病教室」も参加手続き不要、無料で行っています。詳細はホームページやパンフレットをご確認ください。当院は地域に根差した医療・教育活動に取り組んでまいりますので、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。



副院長・人工透析外科主任部長 越智 誠 おちまこと
人工透析センター センター長

腎臓病を基礎から楽しく学べる

腎臓病教室

腎臓病？ 透析？ 聞いたことあるけど・・・???

その悩みを解決！！

腎臓病について
解説します

参加費
無料

高齢者
しいい活動
ポイント
GET!

全2回
開催

【第1回】

- ①慢性腎臓病とその治療について 医師
- ②慢性腎臓病と検査値の見方 臨床検査技師
- ③腎臓を守るための日常の注意点 看護師
- ④腎臓病の薬について 薬剤師

【第2回】

- ①腎代替療法(透析・腎移植)について
・腎移植 医師
・血液透析 臨床工学技士
- ②腎機能保持のための食事のはなし 栄養士
- ③腎臓リハビリテーション 理学療法士

日時 第1回 2025年 11月21日(金) 14:00~15:00
第2回 2026年 2月27日(金) 14:00~15:00

会場 県立二葉の里病院 3階大会議室

参加 事前申し込みは不要 直接会場にお越しください

対象 腎臓病の方・家族、興味がある方どなたでも

県立二葉の里病院 腎サポートチーム

次回の腎臓病教室は、

2月27日(金)14:00-15:00

県立二葉の里病院 3階大会議室

で行います。

事前申し込みは不要ですので、

直接会場にお越しください。

連携医療機関のご紹介

医療法人社団 沖本眼科（広島市東区）

○クリニックの特徴

沖本眼科は1981年に院長の沖本峰子が光町2丁目に開院し、今年で45年を迎えます。2023年から副院長として沖本聡志が継承して院長と共に診療しております。2024年には光町1丁目に移転開院し、手術室を完備して日帰り手術（白内障、緑内障、網膜硝子体、斜視など）も行っております。院長、副院長ともに広島大学を卒業し広島大学眼科に所属しておりました。副院長は、着任前は広島赤十字原爆病院の眼科部長として勤務し、幅広い診療経験を積んでおります。また、小児眼科領域にも精通した広島では数少ない医師であります。

○診療で大切にしていること

「受診して良かった」と患者様に安心し満足していただけるように、精度の高い診療と丁寧な説明を心がけています。

○県立二葉の里病院に期待すること

入院、特殊な検査、他科との密な連携が必要な患者様をご紹介させていただいております。いつも迅速にご対応していただき、深く感謝しております。今後とも県立二葉の里病院との連携を大切にしながら、地域の皆様に信頼されるよう努力してまいります。

医療法人社団 沖本眼科 院長 沖本 峰子 副院長 沖本聡志

住所：〒732-0052 広島県広島市東区光町1丁目14-25

電話：082-264-1320



連携医療機関のご紹介

腎泌尿器青空クリニック（広島市中区）

○クリニックの特徴

腎泌尿器青空クリニックは自身が二葉の里病院泌尿器科（旧 JR 広島病院）で修業させていただいてから、令和7年4月1日に八丁堀（広島女学院前）に開院させていただきました。主には泌尿器科の診療に取り組んでおりますが、木曜午前のみ、女性の方にも気軽に利用していただけるように女性専用外来を設置しております。こちらは女性の外科専門医による診察でありますので幅広く女性の方にご利用いただければと考えております。

○県立二葉の里病院に期待すること

手術や入院治療が必要なかたには、県立二葉の里病院には日ごろからお力添えをいただいております。逆紹介などで戻ってこられた患者様をみると、自分が治療したわけではありませんが、なんだか無性にうれしくなっております。地域の皆さま、主治医・担当医の先生がたに信頼してもらえらる泌尿器科を目指してがんばりたいと思いますのでどうぞよろしくお願いいたします。



腎泌尿器青空クリニック 院長 上田 晃嗣

住所：〒730-0013 広島県広島市中区八丁堀1-12 マスキ八丁堀ビル 8F

電話：082-962-6640



ホームページに当院年報を
掲出しています。

〒732-0057 広島市東区二葉の里3丁目1-36 県立二葉の里病院 経営管理課
Tel:082-262-1171 Fax:082-262-1499 編集責任者 高橋 圭